

会社の概要

(2021年9月30日現在)

会社概要	
商 号	株式会社学研ホールディングス (英文表示 GAKKEN HOLDINGS CO.,LTD.)
設 立 日	1947年3月31日
資 本 金	19,817,453,638円
本 店 所 在 地	〒141-8510 東京都品川区西五反田二丁目11番8号 TEL. 03-6431-1001 (代表)
ホームページURL	https://ghd.gakken.co.jp/

取締役・監査役・執行役員 (2021年12月24日現在)

地 位	氏 名	地 位	氏 名
代表取締役社長	宮原 博昭	常 勤 監 査 役	景山 美昭
常 務 取 締 役	福住 一彦	常 勤 監 査 役	中村 雅夫
常 務 取 締 役	碓 秀行	社 外 監 査 役	山田 敏章
常 務 取 締 役	小早川 仁	社 外 監 査 役	長 英一郎
取 締 役	安達 快伸	上 席 執 行 役 員	勝野 哲也
取 締 役	五郎丸 徹	執 行 役 員	小林 徹
取 締 役	百田 顕児	執 行 役 員	田中 薫
取 締 役	山本 教雄	執 行 役 員	川端 篤
社 外 取 締 役	山田 徳昭	執 行 役 員	渡辺 悟
社 外 取 締 役	城戸真亜子	執 行 役 員	福田 晃仁
社 外 取 締 役	伊能美和子	執 行 役 員	細谷 仁詩
社 外 取 締 役	Caroline F. Benton (キャロライン ベントン)		

社外取締役選任理由



Caroline F. Benton (キャロライン ベントン)

Caroline F. Benton氏は、研究者・教育者として長年教育に携わってこられた経験を活かし、特に専門分野である「グローバル・リーダーシップ、従業員のモチベーション、ウェルビーイング」に関して有益な指導・助言をいただくことを期待しております。当社スキル・マトリックスにおいては、特に教育業界や教育事業に対する深い理解、グローバルに活躍してこられた経験、サステナビリティの強化に資する知見を有する人材として評価しております。

Gakken 学研ホールディングス

株主メモ	
事 業 年 度	毎年10月1日～翌年9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年12月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	電子公告 https://ghd.gakken.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株 主 名 簿 管 理 人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式についてのお問合せ：三菱UFJ信託銀行 証券代行部

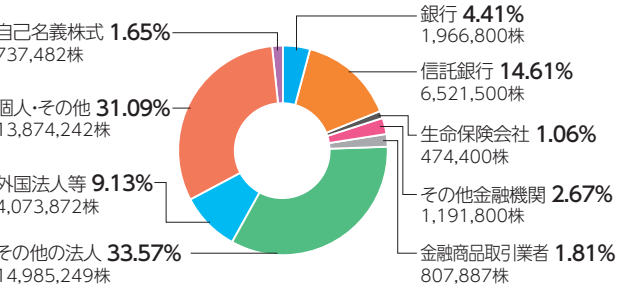
0120-232-711

オペレータ対応 受付時間 平日のみ／午前9:00～午後5:00

株式の状況

発行可能株式総数	159,665,600株
発行済株式の総数	44,633,232株
株 主 数	35,560名

所有者別株式分布状況



学研G・学研HD本社ビル等



学研グループ
環境・社会貢献活動



2021
健康経営優良法人



株主通信 Gakken Value Report

株主優待カタログ付

P1～P6 第76期報告書 2020年10月1日～2021年9月30日

P7～P14 株主優待カタログ

※100株以上保有の株主様が対象となります。株主優待お申込期限 2022年2月28日(月) 23時59分

第57回全国児童才能開発コンテスト 図画部門 高学年の部 文部科学大臣賞 作品

【題名】かがやくホタル 青森県 根城小学校 4年 久慈 陽詩さん

全国児童才能開発コンテスト

昭和38年に制定され、以来毎年行われている顕彰事業です。全国児童の「豊かな感性・情操」を養うとともに、児童の基礎学力である「文章による表現・コミュニケーション能力」「創造的な表現力」「科学的な思考力」を育て、小学生の文化的・科学的才能の育成を目指しております。



株式会社学研ホールディングス



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第76期(2020年10月1日～2021年9月30日)株主通信をお届けいたします。

当社グループは2020年11月策定の中期経営計画「Gakken2023」に基づき、中長期的な成長と株主・投資家重視の経営目標達成を目指しております。

計画1年目にあたる当期の連結業績は、売上高1,502億円(前年同期比4.7%増)、営業利益62億円(前年同期比22.9%増)、経常利益61億円(前年同期比16.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益26億円(前年同期比12.7%増)となりました。

当期は個人株主の方が大きく増えました。その規模は株主様だけでひとつの社会と呼べるくらいのスケールです。これまで以上に株主様からのお声を頂戴する機会が増えるでしょう。そのひとつひとつに耳を傾け、ともに社業を育ててまいいる所存です。

株主様に学研グループの事業をご体験いただきたく、株主優待にコト(サービス)を追加し、従来のモノ(商品)の提供ととも一層の充実を図っております。また、長期にわたって当社を支えていただいている株主様への感謝として、長期優待も拡充しました。

新型コロナウイルス感染症の影響は当面の間続くと思われます。私たち学研グループはコロナ後も見据えて事業を構築し、様々な局面に対応すべく体制を整え、引き続き教育・医療福祉のリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長

宮原博昭

グループ理念

私たち学研グループは
すべての人が心ゆたかに生きることを願い
今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を
提供します

グループビジョン

想像の先を、創造する



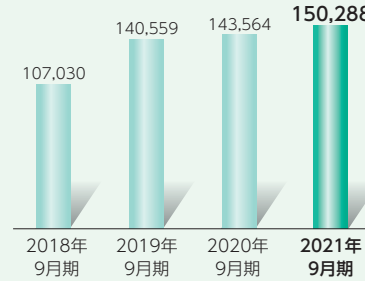
行動指針

人のため、社会のために
まなび続ける
情熱とスピード感を強さに
個の力を集団の強さに
現状に満足しない

財務ハイライト

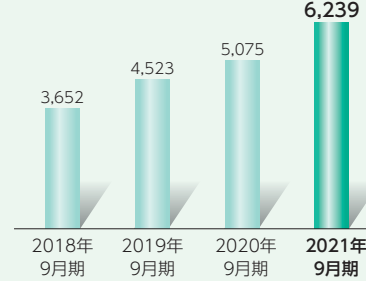
売上高

(単位：百万円)



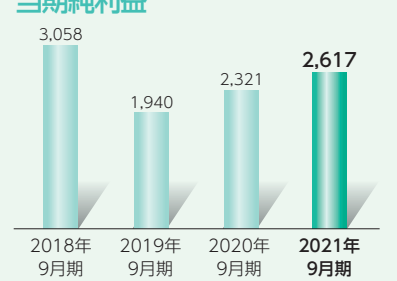
営業利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



セグメント情報

教育分野

JPホールディングス運営の保育園53施設に幼児教室の導入が決定



売上高 78,919百万円

営業利益 4,138百万円

(前年同期比 1,935百万円 増)

▶教室・塾事業

売上高 31,493百万円 営業利益 933百万円

+教室事業 デジタルサービスの浸透、「めばえ教室」事業の譲受け等により増収増益。
+塾事業 不振2社清算も、顧客単価のアップで増収増益。

▶出版コンテンツ

売上高 31,531百万円 営業利益 2,791百万円

+出版は学参改訂に伴う新刊や児童書、実用書のヒットがあったが、メディア事業の会社分割、巣ごもり特需減少で前期並。
+医学看護事業は看護師向けeラーニングの拡大、契約病院数の増加で増収増益。

▶園・学校事業

売上高 15,895百万円 営業利益 745百万円

+幼児教育 幼児教室の移管により減収となるも、園舎設計、先生向け衣類、コロナ対策衛生用品等の伸長で増益。
-学校教育 模試伸長も、教師向け指導書採択部数減少により減収減益。GIGAスクール対応として、出版コンテンツから移管した教材の売上を新たに計上。
+社会教育 就職セミナー、企業向け研修のデジタル化推進による原価抑制で増益。

医療福祉分野

MCSは、埼玉県「多様な働き方実践企業認定制度」で、プラチナ企業に認定



売上高 65,792百万円

営業利益 3,042百万円

(前年同期比 297百万円 増)

▶高齢者住宅事業

売上高 27,431百万円 営業利益 1,275百万円

+サ高住は21事業所を開所、M&Aによる2事業所の事業承継などにより拠点数が累計169に拡大。コロナ禍による住み替え自粛、施設見学減等があったが、増益。

▶認知症グループホーム事業

売上高 33,151百万円 営業利益 2,203百万円

+7事業所を新規開設し、累計281棟に。感染症対策や施設修繕によるコスト増があったが、高水準の入居率、新規施設の伸長等により、増収増益。

▶子育て支援事業

売上高 5,208百万円 営業利益 26百万円

-子育て支援施設は合計72施設まで増加も、新型コロナウイルス感染症の影響で充足率が想定を下回り、人件費等の費用負担増で増収減益。

その他

学研グループの海外事業、物流、シェアードサービス等を担当



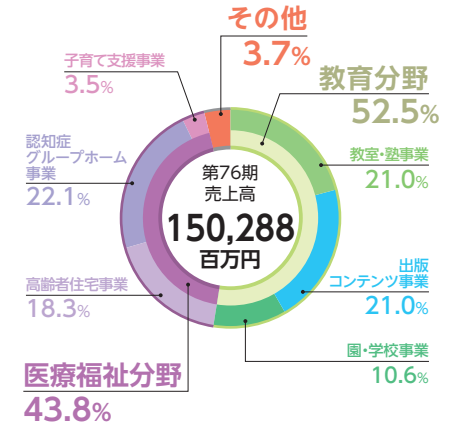
売上高 5,576百万円

営業利益 △941百万円

(前年同期比 1,069百万円 減)

グループ全体のDX推進に伴う、システムおよび人材投資を行ったことにより減益。

売上高構成比





教育分野

教室・塾事業（塾グループ、学研エデュケーショナル、文理）、出版コンテンツ事業（学研プラス、学研メディカル秀潤社、学研ステイフル、TOKYO GLOBAL GATEWAY）、園・学校事業（学研教育みらい、ジェイテックスマネジメントセンター）

学研教室イメージキャラクターに俳優・千葉雄大氏起用

2021年10月からの学研教室新イメージキャラクターに、俳優の千葉雄大氏を起用。9月30日には学研本社ビルとYouTubeライブによるオンライン中継も交えた新CM発表会を行い、多くのメディアの取材を受けました。

「勉強する子になっちゃう！学研教室」というキャッチコピーで、一人でも多くの子どもが、学習が好きになるようコミュニケーションを行ってまいります。（教室・塾事業 学研エデュケーショナル）



イマドキ学参は超オシャレ！創刊49年の中学生向け『学研ニューコース』が攻めのリニューアルに成功

2021年春、学研プラスは10年ぶりに、中学生向け『学研ニューコース参考書／問題集』をリニューアルしました。

学参としてのわかりやすさ、詳しさはそのままに、「中学生が持っていたくなる」をコンセプトに人気イラストレーターやデザイナーを起用。売り上げは、参考書が前年比158%、問題集が250%と大きく伸びています。（出版コンテンツ事業 学研プラス）



おむつお届け定額サービス Raku-Omu



園の現場と保護者の皆様の声から生まれた、おむつお届け定額サービスです。学研が園に紙おむつとおしりふきをお届けすることで、保護者と保育者の手間をなくします。これによって両者の子どもたちとふれあう時間を増やし、保育の質向上につなげていただくために開始したサービスです。今までもこれからも「すべては子どもたちの笑顔のために」との思いで、よりよい保育環境づくりをサポートしてまいります。（園・学校事業 学研教育みらい）

園の現場と保護者の皆様の声から生まれた、おむつお届け定額サービスです。学研が園に紙おむつとおしりふきをお届けすることで、保護者と保育者の手間をなくします。これによって両者の子どもたちとふれあう時間を増やし、保育の質向上につなげていただくために開始したサービスです。今までもこれからも「すべては子どもたちの笑顔のために」との思いで、よりよい保育環境づくりをサポートしてまいります。（園・学校事業 学研教育みらい）

『中学ひとつひとつわかりやすく』参考書史上初のメディア・ユニバーサルデザイン認証取得で、新時代の見やすさ・わかりやすさを実現

2021年春、学研プラスは『ひとつひとつわかりやすく』シリーズの中学生向けのラインナップ13点をリニューアルしました。



全ページをカラー化し、参考書としては初のメディア・ユニバーサルデザイン認証も取得。区別しやすい色づかいと、矢印の形などのデザインに配慮することで、どんな方でも直感的に理解しやすい解説になりました。シリーズ前年比は163%と伸長し、類書シェアNo.1に躍り出ました。（出版コンテンツ事業 学研プラス）

医療福祉分野

高齢者住宅事業（学研ココファン）、認知症グループホーム事業（メディカル・ケア・サービス＝MCS）、子育て支援事業（学研ココファン・ナーサリィ）

中国で認知症早期発見プログラムを本格始動

MCSは、MRIデータ解析を担う株式会社ERISAと、合併パートナーである南通瑞慈美邸 护理院有限公司の2社と中国での認知症早期発見プログラムの事業化に着手するため契約を締結し、本格始動しました。中国では、急速に高齢化が進み、認知症先進国である日本の認知症ケアへの関心が高まっています。MCSは、国内外問わず、認知症の予防・早期発見・認知症ケアという、一気通貫したサービスモデルの構築を実現してまいります。（認知症グループホーム事業）



新たな街づくり拠点がオープン

学研グループが進めている多世代が安心して地域のなかで暮らし続けられる街づくり拠点として「ココファン静岡南八幡」がオープンしました。静岡市との官民連携で整備した施設で、サービス付き高齢者向け住宅・一般向け住宅の他、まなびの拠点として学研教室、地域住民に開かれた交流ホールを備えています。安心・快適な住まいであることはもちろん、多世代交流や地域の居場所づくりを担っていきます。（高齢者住宅事業 学研ココファン）



脳と身体の健康に注力した情報を提供 専門家による健康促進サイト「健達ねっと」を開設



掲載しています。これからの自分や家族のために必要な情報をわかりやすく紹介することで、健康促進と認知症への理解を深めるきっかけを提供していきます。（認知症グループホーム事業）

MCSは、脳と身体の健康促進サイト「健達ねっと」を開設しました。各分野における脳と身体の健康情報だけでなく、認知症についての知識やMCSが取り組んでいる自立支援ケアを掲載しています。これからの自分や家族のために必要な情報をわかりやすく紹介することで、健康促進と認知症への理解を深めるきっかけを提供していきます。（認知症グループホーム事業）

「Gakken ほいくえん」へリブランディング

学研ココファン・ナーサリィ運営の保育園「ココファン・ナーサリィ」リブランディングプロジェクトの一環として、園名を「Gakken ほいくえん」へと変更します。学研グループの知見やノウハウを実証する場として、さらなる品質とブランド価値の向上を図ることを目的としています。その他、保育内容や環境設定なども見直し、顧客満足度の高い園づくりに注力していきます。（子育て支援事業）



※新ロゴ案

学研の認知症予防に関する取り組み 「2つの組織を両輪として発進！」

▶学研認知症予防研究室

2020年4月設立、教育事業・医療福祉事業それぞれの分野のコンテンツを活かし、コロナ禍に対応したオンライン認知症予防サービス「学研ウェルネスCLUB」「学研の添削付き脳トレ通信講座」を開発しました。

▶メディカル・ケア・サービス

認知症ケアを20年にわたり先導してきた会社として、認知症に関わる情報を一元的、かつ一般の方々にもわかりやすく提供していくためのサイト「健達ねっと」を2021年9月に開設しました。

両組織が両輪となって、認知症予防にまつわるセミナー等の情報や、予防サービスの提供を進めてまいります。



学研ウェルネスCLUB

2021年1月開始の、認知症予防サービスです。入会時のチェック内容をもとに、脳トレドリルや運動動画、脳活性化度定期検査で認知機能UPに取り組んでいただきます。看護師がオンラインビデオ通話または電話で、定期的に面談することで日々の健康づくりに伴走します。見守るご家族向けには「ご利用状況レポート」サービスもあり、安心して取り組んでいただけます。

* サービス内容はコースによって変わります。



学研の添削付き脳トレ通信講座

長年ご愛顧いただいている学研の脳トレドリルに、認知機能UPのためのサービスを加えました！添削やお便り返送、学習管理シートで継続支援、脳機能活性検査で定期的な確認が可能に、また運動動画でカラダも健康に。川島隆太教授監修シリーズをはじめとしたドリルが毎月ご自宅に届きます。楽しみつつ脳を鍛えて、認知症を予防いただける講座です。



学研認知症予防研究室

<https://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/ninchi-yobou/>



* 株主優待で「学研ウェルネスCLUB」「学研の添削付き脳トレ通信講座」がそれぞれ無料でご体験いただけます。詳細は株主優待カタログ(本誌P7)をご覧ください。

学研グループ中期経営計画「Gakken2023」 揺るぎない成長基盤の確立 進捗報告

売上高1,500億円を突破

当社は、2020年11月に発表した中長期的な視座を持った成長投資を伴う3か年計画「Gakken2023」のもとで、「揺るぎない成長基盤の確立」をスローガンに定め、教育分野では「新たなまなびの創造と多様な学習機会の創出」、医療福祉分野では「トップカンパニーを目指し持続可能な街づくりに貢献」、グループ全体で「DX加速とグローバル展開」を経営方針に掲げ、事業に取り組んでまいりました。

その結果、計画を上回る1,500億円を突破する売上を達成しました。今期も引き続き持続的成長による企業価値向上に全力を尽くしてまいります。

	20年9月期	21年9月期	21年9月期	23年9月期
	実績	計画	実績	目標
売上高	1,435億円	1,460億円	1,502億円	1,650億円
営業利益	50億円	56億円	62億円	75億円
営業利益率	3.5%	3.8%	4.2%	4.5%
当期純利益	23億円	28億円	26億円	38億円
ROE	6.2%	6.5%	6.3%	8.0%
配当性向	31.9%	29.1%	34.1%	30%

(※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益)



よりご満足いただくために株主優待制度をさらに充実

株主優待制度を拡充

当社は2021年9月に株主優待制度の変更について発表を行いました。長きにわたって当社をご支援いただいている長期保有株主様への優待を拡充し、よりご満足いただけるものとなっています。

従来の対象基準である**1,200株以上3年以上保有**に加え、**400株以上3年以上保有**を新設、長期優待対象の株主様が大幅に増えました。



「モノ」も「コト」も

これまでは当社グループが提供する商品「モノ」を中心に構成していましたが、学研グループの事業をより身近に体感いただけるよう、体験型の優待として当社グループが提供するサービス「コト」を追加しました。



株主優待を通して当社グループの商品・サービス・事業を株主の皆様により深く知っていただけるよう、これからも制度の一層の充実を図ってまいります。株主様のご意見ご感想をお待ちしています。

※優待内容の詳細は株主優待カタログ(P7～14)をご参照ください。